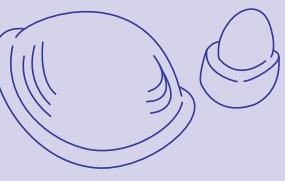
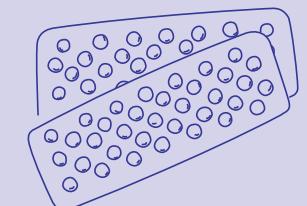


あなたに適した避妊法

以下の避妊法についての詳細は、家族計画協会(Family Planning)までお問合せください。



方法 Method	説明と仕組み What is it? How does it work?	妊娠の可能性 Chance of getting pregnant?	健康上の留意点 Health concerns	利点 Advantages	欠点 Disadvantages
コンドーム CONDOM	 <ul style="list-style-type: none"> 薄いゴム製バリア 勃起した男性器にかぶせ、射精された精子を集める 水溶性の潤滑剤と併用するとよい 	<ul style="list-style-type: none"> 殺精剤と併用したり、注意深く使用しているかどうかによって 2~15% 油性の潤滑剤やカンジダ予防クリームと併用すると可能性が高くなる 	なし	<ul style="list-style-type: none"> 携帯と使用に便利 必要な時だけ使用すればよい 性行為感染症に最も効果的 FPAセンター、その他の医療機関から入手できる バブやナイトクラブ、薬局、日用品販売店から購入できる 処方箋があると割安 	<ul style="list-style-type: none"> ゴムや殺精剤にアレルギー反応を起こす人もいる 挿入前の勃起した男性器につけなければならない 性感を悪くすると言う人もいる ズレ落ちたり、破れがあることがある
ペッサリー DIAPHRAGM	 <ul style="list-style-type: none"> 膣の中に挿入して子宮頸を覆うドーム型の薄いゴム製バリア 殺精剤(ゼリーまたはクリーム)と併用する 	<ul style="list-style-type: none"> 殺精剤と併用したり、正しく使用しているかどうかによって 4~20% 	<ul style="list-style-type: none"> 膀胱炎にかかりやすくなる女性もいる 	<ul style="list-style-type: none"> 性交渉の数時間前に挿入できる 必要な時だけ使用すればよい 性感染症の予防効果もある 	<ul style="list-style-type: none"> 初回の挿入は熟練した看護師や医師が行なう必要がある 人によっては出し入れが難しい うまくできないと汚らしい 殺精剤が膣や男性器を刺激することもある 性交渉後、6時間以上挿入したままにしておかなければならない
殺精剤 SPERMICIDE	 <ul style="list-style-type: none"> 泡沫状、ペッサリー、クリーム、ゼリー 精子を殺す薬品を含有 	<ul style="list-style-type: none"> 単独使用の場合は 4~25% コンドームやペッサリーと併用する場合は2% 	<ul style="list-style-type: none"> 判明しているものはない 	<ul style="list-style-type: none"> FPAセンターや薬局で購入できる 使用と携帯に便利 必要な時だけ使用すればよい 性感染症の予防効果もある 	<ul style="list-style-type: none"> 性交渉前に使用しなければならない 膣や男性器を刺激することもある うまくできないと汚らしい ペッサリー(避妊用の膣腔内器具)やコンドームと併用しない場合の妊娠率は高い
複合ピル COMBINED PILL	 <ul style="list-style-type: none"> エストロゲンと黄体ホルモンを含むピル 毎月の排卵を止める 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく使用しているかどうかによって 1~3% 	<ul style="list-style-type: none"> 低い確率ながら血餅、心臓発作、脳卒中を引き起こす可能性がある(特に35歳以上で、家族にこれらの病歴があったり、肥満している喫煙者) 乳癌にかかる可能性が多少高まる 	<ul style="list-style-type: none"> 服用が簡単 性交渉を中断せずに済む 生理は定期的で短期、量も軽く、痛みが軽減される 子宮癌や卵巣癌の発症率が低い 健康な非喫煙者であれば閉経期まで継続的に使用できる 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の処方箋が必要 35歳以上の喫煙者は使用できない 毎日、定時(忘れても12時間以内であれば問題ない)に服用しなければならない 副作用(体重増加、気分のむら、肌質の変化、不定期の出血、吐き気など)の可能性もある
黄体ホルモンピル PROGESTIN ONLY PILL	 <ul style="list-style-type: none"> 黄体ホルモン含有のピル 子宮頸の粘液を濃くして、精子が通り抜けられないようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく使用しているかどうかによって 1~4% 	<ul style="list-style-type: none"> 危険性、特になし 	<ul style="list-style-type: none"> 服用が簡単 性交渉を中断せずに済む 使用には年齢制限がない 授乳中の女性も使用できる 複合ピルを使用できない女性に便利 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の処方箋が必要 毎日、定時(忘れても3時間以内であれば問題ない)に服用する 不定期の出血があったり、生理が止まることもある
デポプロベラ DEPO PROVERA	 <ul style="list-style-type: none"> 黄体ホルモンの注射 毎月の排卵を止める 	<ul style="list-style-type: none"> 1%以下 	<ul style="list-style-type: none"> 乳癌にかかる可能性がわずかに高まる 骨密度が減少する可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> 1回の注射で12週間有効 性交渉を中断せずに済む 通常、生理が止まる 複合ピルを使用できない女性に便利 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の処方箋が必要 生理不順、生理が止まる、あるいは稀に出血量が増える 通常の生理および妊娠機能が戻るのは最後の注射から6ヶ月後 副作用(体重増加、うつなど)の可能性がある
避妊器具 IUD IUS	 <ul style="list-style-type: none"> IUD-医師が子宮内に挿入するプラスチック+銅製の器具 IUS-子宮内で黄体ホルモンを放出する小型のプラスチック製器具 受精を防ぐ 	<ul style="list-style-type: none"> IUD-1~2% IUS-1%以下 	<ul style="list-style-type: none"> IUD挿入時あるいは性病感染時の骨盤感染の可能性を高める(骨盤感染は不妊の一因ともなる) 	<ul style="list-style-type: none"> 性交渉を中断せずに済む 5年間有効 経産婦に適している IUD-生理が重い女性に効果的 IUS-生理が軽くなる、または止まる 	<ul style="list-style-type: none"> 熟練医師による挿入が必要 IUDは生理を重くしたり、生理痛を引き起こすこともある。IUSは使い始めの数ヶ月間、不定期の出血の原因となるので、使用者やそのパートナーが不特定多数と性交渉を持つ場合には使用しない
オギノ式 FERTILITY AWARENESS	 <ul style="list-style-type: none"> 妊娠しやすい時期を知らせる目安の体温やおりもの、生理を定期的にチェックする 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく行っているかどうかによって 2~25% 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの場合、信仰の妨げとならない いたん方法を習得すれば、費用も専門医師による診断も必要ない 身体の仕組みを理解するのに役立つ 	<ul style="list-style-type: none"> 方法を習得するまでは専門家の指導が必要 妊娠しやすい時期には性交渉が持てない 毎日体温とおりものの記録を付ける必要がある 身体症状の自己診断は難しく、症状は時によって異なることがある
事後ピル EMERGENCY CONTRACEPTION	 <ul style="list-style-type: none"> 避妊せずに性交渉を持った後に事後ピル(ECP)、またはIUDを使って避妊措置をする。排卵を遅らせたり、受精卵の着床を防ぐ 	<ul style="list-style-type: none"> ECP-1~4% IUD-1~2% 	<ul style="list-style-type: none"> ECP-特になし IUD-性病に感染している場合には、骨盤感染の可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> 避妊せずに性交渉を持った後の妊娠率を下げる ECP-避妊せずに性交渉を持った場合、72時間以内に服用すれば効果がある ECPを家庭に常備しておける 他の方法が失敗した場合(コンドーム破損、ピル飲み忘れなど)の救急措置 	<ul style="list-style-type: none"> 医師より入手する必要がある ECPは避妊せずに性交渉を持ったら72時間以内に服用しなければならない(24時間以内だと効果が高い) ECPの服用によって吐き気や嘔吐を催す場合もある IUDは挿入時に痛みを伴なうことがある
精管切除 卵管結紮 VASECTOMY & TUBAL LIGATION	 <ul style="list-style-type: none"> 永久的避妊法 手術 精管切除-精管を切除して精子が陰茎に到達するのを防ぐ 卵管結紮-卵管をクリップで止め、卵子が子宮に到達するのを防ぐ 	<ul style="list-style-type: none"> 1%以下 	<ul style="list-style-type: none"> 精管切除-稀に陰囊痛が長期間継続する 卵管結紮-麻醉薬に反応する例が稀にある 	<ul style="list-style-type: none"> 一度限り 永久的 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単に元の状態には戻せない 要手術 短期間の副作用(痛み、あざなど)が起こる場合もある